

議会だより



ちよぞっ娘

からうら

たき火だ!

ぬく〜



買い物バス運行

2

議員が認知症サポーターに

4

新築住宅に100万 (一般質問)

6▶13



みかん
会議 (11月)

ちよぞっ娘

買い物支援バス(福ちゃん号)に

100万円

国の地方創生先行型の交付金の内100万円を活用して、買い物支援バスが始まりました。

11月から、火曜日に坂本方面、木曜日に沼江方面より試行期間として無料で運行されています。

議会でも繰り返し、実現に向けて提言してきましたが、やっと運行されることになりました。
みなさん、多数ご利用ください。

利用者の声

S.Kさん(西岡)

毎週利用しています。2カ所ぐらいで楽しく買い物ができるので、これからもよろしく。

I.Oさん(山田)

とても便利でありがたい。多くの友達にも勧めたいです。

主なもの

一般会計補正予算 2243万円

町のPRビデオ 500万円

勝浦病院将来プラン策定委託料 300万円

簡易水道特別会計

与川内水道濁り対策 555万円

設計委託料 555万円

年頭のあいさつ

有言実行！かつうら創生

議長 国 清 一 治



新年を迎え、具体的に動き出す「かつうら創生」。議会も町民の声を広く聞き、提言書を提出しました。

「絵に描いた餅」にならないよう、実現に向け議員の行動力を発揮する、その時である。



8月会議

8月18日開会。「安全保障関連法案の廃案を求める」意見書の採択が行われ、賛成4反対5で否決。

反対者

松下、麻植、松田、
鄧、大西

反対討論…国民の理解を得るために、継続して審議するべきである。

賛成者

仙才、美馬、森本、
井出

賛成討論…多くの憲法学者が明確に憲法違反としており、立憲主義に反する。国民の6割が反対、8割が理解できていない状況であり、廃案にするべきである。

町民の声に対する質問

**プレミアム商品券発行は
どうなっているのか**

節議員

問 プレミアム商品券発行事業の時期と金額は？
また、4月発行時に問題となった点の改善策は？

答 野上産業交流課長

発売は10月1日で金額は3600万円分。9月14・15日に予約受付をし、1世帯当たり上限10万円で、商工会と協議中。

**電気柵の安全性は、
大丈夫か。**

美馬議員

問 他県で電気柵の死亡事故が起こったが、本町では問題はないのか。

答 野上産業交流課長

町内で違法の防護柵は、今まで見つかっていない。



事故が起きない様に！

9月会議

9月8日から17日まで開かれ、26年度決算認定と補正予算などを審議し、原案通り可決した。

内容は、マイナンバ1制度の開始に伴う条例の改正、鶴林寺公衆トイレ改築と坂本家運営事業の追加など。

補正予算の主なもの

第3子保育料無料化を4月に遡^{さかのぼ}って実施 239万円
自主防災組織の防災訓練事業 158万円
鶴林寺トイレ改修費 2100万円

質疑

大西議員

問 棚野地区の自主防災訓練に158万円が計上されているが内容は、

伊丹参事

喜楽苑と合同で訓練し、ストレッチャー、伸縮担架、防災用ヘルメットなどを新たに購入する。

井出議員

問 介護基金に3276万円も積み立てられるが、1か月700円もの値上げをする必要はなかったのではないか。

大西福祉課長

答 国の算定基準に基づいて、算出した結果であり、次期の算定料に反映させていく。



快適なトイレでおもてなし

平成26年度 決算を認定

一般会計歳出総額
36億8946万円

主な留意事項

企画総務課

- 若者定住対策として賃貸住宅補助金事業は効果を上げているが、更なる定住対策として、新築住宅に対する補助制度も推進されたい。

福祉課

- 交通弱者対策として、社協などの関連機関と連携し、現実的な事業を実施されたい。

産業交流課

- 貯蔵ミカンのブランド化についても品質基準の統一や出荷体制の整備を進める必要がある。

認知症を学び地域で支えよう

9月30日、議員と町職員54人が認知症サポーター養成講座を受講した。

(勝浦町では平成25年から活動を始め、現在521人がサポーターとして資格を取っている。)

8月末で65歳以上が2179人、75歳以上が1400人と高齢化が進んでいる。

今後、認知症高齢者の増加が見込まれ、地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要で、今年から始まった地域ケア会議の成果が期待される。



接し方のポイントは

- ・驚かせない
- ・急がせない
- ・自尊心を傷つけない

認知症サポーターとは

- ・「なにか」をする人ではなく、認知症の人やその家族の応援者。
- ・認知症について正しく理解し、温かい目で見守る人のこと。

視察をどう活かすか！

平成27年10月29日～31日

広域行政で問題の解決を

視察先：北海道白糠町

■常備消防化

市町村合併により、一部事務組合加入の町村が他市と合併。独自で常備化を目指したが、道庁の仲介のもとで、自治法に定める常備消防として釧路市に事務委託をしている。

■広域ゴミ処理

5市町村による広域連合を組織し、平成18年から供用開始。処理内容は「燃えるごみ」だけを搬入し、他のごみは町内の「クリーンセンター」で中間処理している。

勝浦町では、消防常備化を小松島市と協議してきたが、10月に一旦断念。

7市町村で進めてきた広域ゴミ処理施設についても協議会が解散し、計画が白紙になった。

「消防」「ゴミ処理」とも待ったなしの状況で、課題解決に向け行政・議会が一丸となって取り組む必要がある。

情報発信力の強化を

視察先：北海道芽室町



「議会の見える化」(議会だよりの通年発行、全会議のインターネット中継、録画配信、SNS等による情報発信)を同時に進めることで、住民の政治参加を促す仕組みが定着しつつある。

情報発信力の向上や、「議会の見える化」は勝浦町議会においても最優先課題である。議員一丸となって取り組まなければならない。まずはホームページの充実やSNS等を活用した情報発信等、出来る事からコツコツと始める事が大切ではないか。まずは、本会議の放映に取り組みたい。

一般質問

議員が町の執行部に対して、様々な角度から町政について質問すること

町の課題に切り込む!

質問議員	質問事項	ページ
仙才 守	1、ケーブルテレビの活用を 2、SNSの導入検討を 3、防災対策の強化を 4、重機所有者との協定を	6
松下一一	1、通学路の安全確保を 2、沼江、掛谷谷川の土砂対策は 3、町有地の有効利用を 4、子ども広場の建て替えは	7
麻植 秀樹	1、町営住宅・集落排水、使用料の徴収強化を 2、徴収率が上がらないのはなぜか	8
松田 貴志	1、「かつうら創生」早急に常備消防の整備を 2、分かりやすい情報発信を 3、27年度の出生数は16名、思い切った政策を	9
森本 守	1、町民体育大会、来年はどうするのか 2、マイナンバー制度、理解の浸透を 3、大丈夫か、介護保険制度 4、新浜勝浦線、地元関係者と十分な協議を	10
井出美智子	1、TPPから農業を守れ 2、ケーブルテレビ、インターネットを 使用しない世帯の負担軽減を 3、国民健康保険税の値下げを	11
節 公一	1、移住・定住促進策、宅地造成の内容は 2、新築住宅に補助を 3、住民提案事業に助成 4、空き家利用の体制づくりを	12
大西一司	1、勝浦中学校の部活、合同で活動できないか 2、地方創生、全町一体となって進めるべき 3、ごみ焼却場問題、 白紙撤回 今後の取り組みは 4、TPP、オレンジ等関税撤廃の影響はどうか 5、勝浦川無堤地の改良、浸水地域の対策を	13

会議予定日

1月19日 2月17日 3月8日~11日・22日~25日

ケーブルテレビの活用を

楽ビジョンは撤去する（参事）

仙才
守議員



問 ケーブルテレビが有効に利用されていない。町民体育大会や町政60周年記念行事の放送に利用できたのではないか。

また、マイナンバー制度の広報にも利用できたと思う。活字だけの広報では限界がある。今後の方針は。

答 伊丹参事

今年度実施するシステム更新では「楽ビジョン」を撤去するので、テレビではインターネットが利用できなくなる。

問 使い勝手が悪かったのであれば改善し、利用促進をはかるべきではないか。

答 伊丹参事

利用状況を確認したが、全く使われていない実態があったので、今回は導入を断念した。



SNSの導入検討を

問 町民との情報交換にソーシャル・ネットワーク・キングダム・サービス（SNS）を導入してはどうか。

答 伊丹参事

SNSは利用者が増加しているがトラブルもある。体制が整ってからの取り組みとしたい。

※SNS:インターネットを使った相互情報交流の仕組み

防災対策の強化を

問 坂本地区では、土砂災害が心配されているが、町としてどのような対策が行われているのか。

答 柳沢建設課長

土砂災害防止法に基づき町内で294カ所の危険箇所が指定されている。県は今年度中に233カ所、来年度中にすべての現地調査を終える予定。

問 調査の内容は

答 柳沢建設課長

専門家が現地に入り、急傾斜の崩壊、地すべり、土石流に関する調査・判定を行い、警戒区域、特別警戒区域などを指定する。すでに大半の地区で地元説明会を実施した。

問 現状では実践的な防災訓練ができていない。各地区ごとの防災マニュアルが必要ではないか。

答 伊丹参事

各地区ごとの防災計画、防災訓練マニュアルが必要。要望があれば職員を派遣し、相談しながら防災計画や防災マニュアルの作成する。

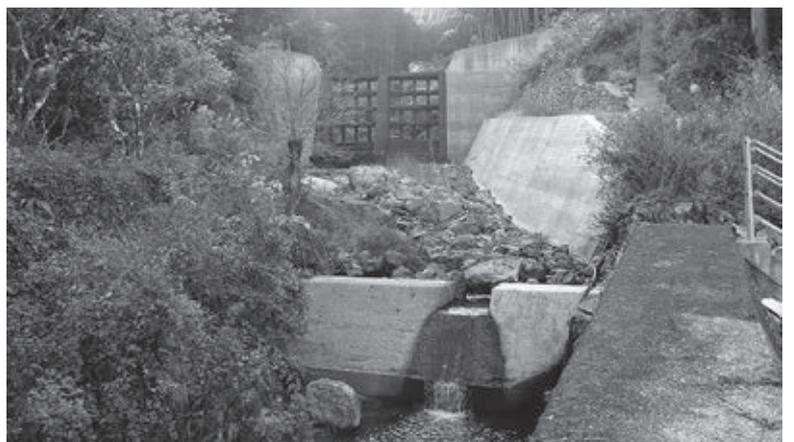
重機所有者との協定を

問 災害発生時の対策とし

て、地元の重機所有者住民と協定を結ぶことはできないか。

答 中田町長

責任やリスクを考慮すると、町としては慎重を期さなければならぬ。住民の自助努力を引き出していくことは重要で、他町村の動きも見極めて答えを出していきたい。



土砂災害防止に有効な砂防ダム（生名谷川）

通学路の安全確保を

交通安全指導を強化する（教育長）

松下 一一 議員



降りの整理や経費の面から実現性は低い。

安全対策としては、学校支援ボランティアや交通安全協会、警察などの協力を得て交通安全指導を強化していく。

問 西岡地区の狭くて危険な通学路の安全確保が重要である。危険回避のためと荒天時、体調不良などの対策のため、路線バスの利用はできないか。

答 椎野教育長

徒歩通学が原則であるが、体調不良時などの場合、臨機応変に保護者が対応すること、問題はない。路線バスの利用は、乗り

沼江、掛谷谷川の土砂対策は

答 柳沢建設課長

谷川周辺では農業被害や冠水が起きているの

問 沼江、掛谷谷川の土砂撤去に地元住民から強い要望が出ている。洪水対策として早急に対応すべきでは。また、勝浦川本流の流れをよくするため、土砂の撤去や竹やぶの伐採を。



たまり過ぎた土砂。早く撤去を！（掛谷谷川）

で、土砂の撤去は必要と認識している。引き続き県に強く要望していく。

勝浦川本流の土砂については、過去に砂利を取った経緯があるので難しい。

町有地の有効利用を

問 フライトパークの利用

答 野上産業交流課長

フライトパークの運営は徳島スカイスポーツクラブに委託している。

があまりされていない。多目的に利用できるように整備しては。

また、パイロット跡地の管理状況について、付近の住民から苦情が出ている。害虫の発生や有害鳥獣対策として、改善が必要では。

子ども広場の建て替えは

問

沼江地区の子ども広場は地区の歴史を語る施設である。

沼江地区では若者の人口も増えており、子育てに適した地区をアピールするために、現在地での建て替えを望むが、どのような構想か。

答 大西福祉課長

町全体の少子化対策や定住対策に最も効果のある方法を検討する。

その他の質問

- 沼江バイパスの進捗状況は
- 介護施設の充実を

天体観測などのための出入りは自由だが、新たな施設整備はむづかしい。

答 岡本出納室長

今年パイロット跡地の草刈りが遅れ、隣接農地所有者に迷惑をかけた。複数年かけて全面的な草刈りを実施する。

町営住宅・集落排水

使用料の徴収強化を

担当者が訪問し要請する（住民課長）

麻植秀樹議員



問 集落排水施設の老朽化に伴い、修繕や機能強化に多額の費用をかけているが、効果は上がっているのか。

答 笹山住民課長

26年度の集落排水施設機能強化事業で真空弁を交換し、27年度は無線通報装置を設置する。故障率の減少、維持管理の効率化、水質の向上を図れる効果がある。このことで、修繕費の軽減と住民の施設への信頼度が上がる。

問 町営住宅や集落排水施設の使用料の徴収について、過去2年間でどうなっているのか。

答 笹山住民課長

住宅料の徴収率は25年度は81%、26年度は85%、農業集落排水の徴収率は、25年度96%、26年度は96%である。

問 滞納者への督促状の送付はどのようになっているのか。

答 笹山住民課長

住宅料は、25年度は2回2件、26年度は1回1件。集落排水の使用料は、25年度は6回60件、26年度は0件となっている。



機能強化で維持管理の効率化を（集落排水施設）

問 滞納額が大きくなればより支払いが困難になるため、督促状だけでなく、訪問や電話などによるきめ細かな対応が大事である。27年度はどのように対応したのか。

答 笹山住民課長

現在の入居者で、住宅料を支払っていない人はいないが、14年度からの滞納分が、200万円を超える滞納者が複数いるため、対応に苦慮している。訪問や督促、催告を増やし、保証人とも連絡をとるなど、退去も視野に入れて、相談を強化し、課員一致協力して、徴収率向上に努めたい。

徴収率が上がらないのはなぜか

答 笹山住民課長
住宅料は、電話で入金依頼をし、支払いが滞った場合は、担当者が訪問して支払いの要請をしている。悪質な滞納者で、退去したケースが1件ある。

問 滞納者や支払いが遅れがちな人への相談をもっと実施して、徴収強化に努めるべきである。徴収率が上がらない要因はどこにあるのか。

松田貴志議員



「かつうら創生」

早急に常備消防の整備を 救急救命体制づくりを 進めたい (参事)

問 総合戦略の「個性豊かで魅力ある安全なまちづくり」の中で、常備消防の整備がある。住民の要望も強く、一日でも早く整備されるべきだ。近隣自治体との協議状況と今後の取り組みは。

答 伊丹参事

昨年从小松島市と協議してきたが、現在の小松島消防署の体制では、勝浦町



子育て支援にも必要。救急体制

の消防事務を受けられないということ、一旦断念することになった。勝浦町の財政や防災体制等を考慮すると、引き続き広域による消防体制を検討していくべきと考える。

問 全国でもトップレベルの子育て環境が整備されているのに、アピール不足により、町外の方に認知されていない。現在は町のホームページ、広報誌のみでの情報発信だが、今後どのような方法で分かりやすくPRしていくのか。

答 伊丹参事

総合戦略のなかで地域活性化センター（仮称）を整備することになっており、その職員に情報通信に精通した人材を採用したい。

また、勝浦町の魅力をまとめたプロモーションビデオを作製し、広く発信していきたい。



27年度の出生数は16名

思い切った政策を

問 27年度の出生数が16名程度になる予定だが、出生数を5年間で200人程度を維持していく目標を達成するためには、さらに思い切った政策を実行する必要がある。

現在取り組んでいる出産祝い金を増額してどうか。

答 大西福祉課長

祝い金制度は今年3月から始まった事業であり、状況を見極める必要がある。

問 子育てママの社会復帰のため、パソコン教室等のスキルアップ講座を開催しては。

答 大西福祉課長

県が実施している支援事業等の情報提供をするなかで、講座開催等の要望があれば検討したい。

町民体育大会

来年はどうするのか

各方面の意見を聞き判断する（町長）

森本 守議員

で総括したい。



【答】 中田町長

私としては成功であった
と思っており、次回開催に
ついては、各方面からの議
論を尊重し、判断する。

【問】 町政60周年記念行事の
一環として、9年ぶりに町
民体育大会が実施されたが、
どのように総括し、来年は
どうするのか。

【答】 椎野教育長

町民の2割、約1000
人の参加があり、初期の目
的は達成できたと認識して
いる。

12月2日に実行委員会の
開催を予定しており、そこ

マイナンバー制度

理解の浸透を

【問】 通知カードの
郵送に問題はな
かったのか。

また、何通戻っ
てきたのか。その
対策は。

【答】 笹山住民課長

郵送に問題はな
かったが、136通が戻っ
てきた。窓口に取りに来た
方にお渡しするが、送り先
が分かれば送付する。

【問】 個人番号カードの申請

について、分からない人へ
の対応は。

【答】 笹山住民課長

広報かつらの9月号か
ら毎月掲載している。それ
から窓口でパンフレットも
用意しており、1日2〜3
件の相談がある。

【問】 個人番号カードを作ら
ない人は不利になるのか。

【答】 伊丹参事

特に必要のない方や身分
が証明できる方は、無理に
申請する必要はない。その
場合の罰則規定はない。

大丈夫か

介護保険制度

【問】 4月の制度改革により、
全国では廃業したり、縮小
する施設があるようだ。勝
浦町は大丈夫か。

【答】 大西福祉課長

本町の特別養護老人ホー
ムでは、大幅な減益や人員

整理の話は出ていない。

【問】 在宅介護の職員に、負
担がかかっているか。

【答】 大西福祉課長

毎月、包括支援センター
職員も含めての会議が開催
されるので、実態を把握し
たい。

新浜勝浦線

地元関係者と十分な協議を

【問】 このままでは
町道との合流点に
問題が出てきてい
る。地元関係者と
十分な協議をし、
対応が必要では
ないか。

【答】 柳沢建設課長

再設計の指示を
した。今後十分留
意したい。



段差をなくす設計に（県道と町道の合流点 中山地区）

TPPから農業を守れ

国に支援を求めていく(町長)

井出美智子議員



と競合する。対策はどうするの。

答 野上産業交流課長
関税は12月から3月までは、3年間20%で、8年後には撤廃されてしまう。国の支援策を見守りたい。

問 TPPの大筋合意により、町内農業への影響が心配されている。どの程度か。

答 野上産業交流課長
柑橘では8%ほど生産が減少すると予想されているが、加工品も含めると予想がつかない。

問 オレンジ(12月から5月)にかかる32%もの関税撤廃は、貯蔵ミカンの販売



TPPで大丈夫なのか貯蔵ミカン!

問 母親たちから食の安全に対する懸念が多く聞かれるが、大丈夫か。

答 福田副町長
輸入品が増えるため、安全性が危惧されるので、検査強化が求められる。

問 国会決議違反と憤りの声も大きい。町長として国にどのように意見を上げていくの。

答 中田町長
農業を守るよう、国に支援を求めていく。

問 業者とのケーブルテレビ契約の更新内容は、決まっているの。

答 伊丹参事
2業者からサービス向上の提案を受けて検討中である。

ケーブルテレビ インターネットを使用しない世帯の負担軽減を

問 広く町民の声を聞いて、内容を精査するべきではないか。

答 伊丹参事
住民の声は、しっかりと把握しているので反映していく。

問 インターネットを使用しない世帯の負担軽減策を講じているの。

答 中田町長
これからの時代はインターネットをもっと利用して

いくことが必要なので、より利便性を高めて、全世帯での利用を図っていききたい。

国民健康保険税の値下げを

問 住民の生活は、より厳しくなっているが、国保加入者の職業と平均所得はどうなっているの。

答 松本税務課長
加入者は農業、商業などの自営業や退職者、パートやアルバイトなどの非正規労働者の方たちで、104万9千円が平均所得。

問 勝浦町は「国保税が黒字すぎるワースト300自治体」の2番目にランクされており、1人当たりの黒字額が19万円にもなっている。この黒字額を活用して、申請減免や値下げをしたらどうか。

答 中田町長
国保の安定的な運営のためにも、申請減免や値下げは、今は考えていない。

移住・定住促進策

宅地造成の内容は

横瀬地区で計画（建設課長）

節
公
一
議
員



問 移住・定住を進め「ひと」の流れを作る施策が総合戦略の中にあり、町が造成するようになってくるが、候補地や規模、実施時期の内容は。

答 柳沢建設課長

教育環境や買い物物の利便性、水道や排水の整備、災害面の安全性などを考慮し、今回は横瀬地区で計画したい。

規模は一戸当たり約90坪

で2〜3戸を確保し、来年度に造成を完了させ、公募したい。

問 水道や排水設備、境界確定は町が行うのか。

答 柳沢建設課長

水道はメーターまで、排水は引き込み管までの工事を町が行なう。

境界確定も隣接者と協議し、町が実施する。



地域に元気を！宅地造成で住宅建設

問 売り主に所得控除はあるのか。

答 松本税務課長

税務署と事前協議をするが、1500万円までは控除の対象になると考えられる。

新築住宅に補助を

問 定住促進のため、以前から新築住宅への補助を議会提言してきた。新しい施策として実施されるが、どのような内容か。

答 中田町長

100万円を上限に15戸分の予定で、来年度から実施する。

定住が目的であるので年齢制限は設けない。

住民提案事業に助成

問 「個性豊かで魅力あるまちづくり」の施策の中に、住民が行なう「地方創生」に対する助成制度があるが、どのような制度設計になるのか。

答 福田副町長

広く町民の意見やアイデアを拾い上げ、町民が主体となつて地域の活性化に取り組めるよう、来年度から実施したい。

提案型とし、上限50万円を地方創生の趣旨にかなうものを対象とする。

空き家利用の体制づくりを

問 空き家対策は、現状では町が行なっているが、他の自治体の成功例はNPO法人などが行なっている場合が多い。

外部団体の育成が必要でないか。

答 福田副町長

移住希望者には改修業者や荷物の保管場所など、具体的な対応が必要になるが、役員職員では公平、中立の立場から限界があるので、外部団体の育成が大事と認識している。

新しく地域活性化協会の設置を予定しているので、その中で検討していきたい。



勝浦中学校の部活

合同で活動できないか

各学校に部があれば可能 (教育長)

問 勝中の部活動が、部員不足でやりにくくなっている。小学校では、上勝小との連携実績もあるので、中学校でも上勝中との合同で活動できるように、協議を進めるべきでは。

答 椎野教育長

現在も勝中のバレー部が、加茂谷中と合同チームを組んでいるが、各学校に部の設立が必要だ。保護者の希望を学校に伝え、合意ができれば可能である。

地方創生

全町一体となつて進めるべき

問 一番重要なのは人口問題だ。町の人口は推計では2060年に20000人を割る。出生率を2030年に2・07人まで引き上げるために全町が一体となつて進めるべきだ。

答 中田町長

さまざまな施策を講じていく。5年間の計画だが、それにこだわらず長いスパンで考えたい。

ごみ焼却場問題

白紙撤回 今後の取り組みは

問 ごみ焼却場建設が、佐那河内村の事情により白紙撤回された。本町として今後のように取り組むのか。

答 中田町長

非常に残念だ。今後とも議会と相談しながら、本町の方向性を決めていきたい。

産意欲減退にならない対策を、国や県に求めていく。

TPP

オレンジ等関税撤廃の影響はどうか

問 みかんの関税撤廃の影響は。

また、その対策はどの様に行われるのか。

答 野上産業交流課長

オレンジの輸入量は、1991年の自由化時は増えなかった。今後は農家の生

勝浦川無堤地の改良

浸水地域の対策を

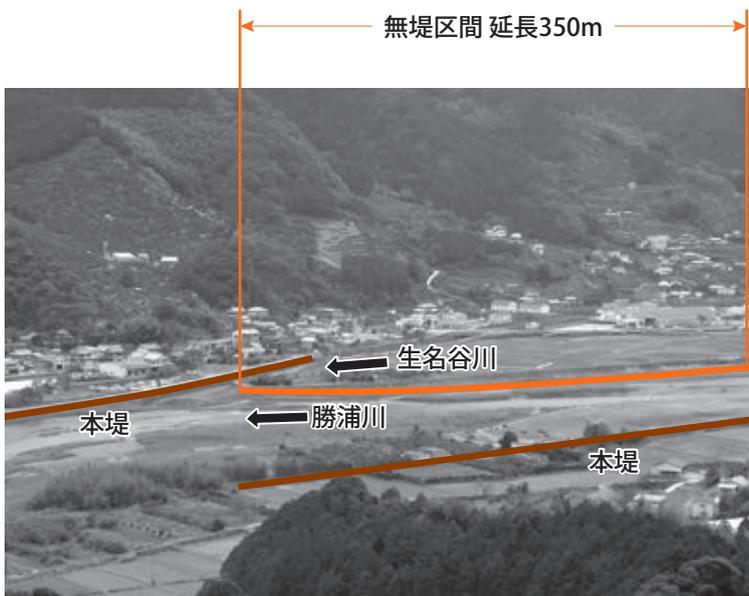
問 生名谷川吐き出し口の護岸の高さが、星谷運動公園よりも低く、大雨時には恒常的に浸水地帯となっている。

県道や道の駅も冠水し、生活に重

大な影響が出ている。防災面での対策が必要だ。

答 柳沢建設課長

問題解決には、排水ポンプの設置がベストだが、多額の建設費や維持管理費が必要である。受益者負担も多額になり、実現に向けてはいくつものハードルがあるので今後の課題としたい。



浸水対策が急がれる (生名谷川)



勝浦農業の宝

ヤングファーマーを紹介♪

- ① 就農しようと考えたきっかけは。
- ② 今後の展望は
- ③ 農業を志す若者にエールを

兄弟で活躍 作本洋蘭園 (今山)
 作本知徳さん (34歳)
 作本孝彦さん (31歳)



知徳さんの奥さん(大阪府出身)両親、祖母、妹の7人家族。シンビジウムを10,500㎡栽培。

- ① 小さなときから父の後を継ぐつもりでした。知徳は、農業大学校を卒業後、修行のため5年間「花由」に勤めてから就農しました。孝彦は、高校卒業後すぐに就農しました。
- ② しっかり父の仕事を引き継ぎ、洋蘭(シンビジウム)の知名度を上げるPR活動も行って、農業全体の活気を上げていきたいと考えています。
- ③ 僕たちは、シンビジウムでがんばります。果樹、野菜、施設園芸と作物は違って、一緒に農業を守っていきましょう。



- ① 祖父の腰痛が悪化したのがきっかけで、できる時に教えてもらいたいと思い就農した。
- ② 斜面の畑は大変だが、美味しいみかんができるので頑張っていきたい。新しい苗木を植えながら収穫量も増やしていく。勝浦みかんのPRを。
- ③ 勝浦でしかできない農業がある。やればやるだけ結果が反映されるからおもしろい。山の空気は美味しいよ!



20年に美波町から町内に就職。
 24年に結婚し押栗農園の3代目。
 3haの園地で貯蔵みかんを栽培。

押栗友輝さん(28歳) 与川内

編集後記



勝浦町の行政は、適切な手続きで行われているのだろうか。それをチェックするのは議会の仕事だ。佐那河内村が、ゴミ処理施設の建設計画を白紙撤回した。選挙結果を受けての決定だが、選挙の差はわずか52票。「計画の進め方(手続き)に不信」が選挙に影響した模様。

民主主義は手続きが重要。手続きに不信があれば、住民がやり直しを求めるのは当然だ。しかし村の将来を考えた前村長の構想も理解できる。

事態は急展開し、広域協議会も解散してしまった。ごみ処理問題は本町の重要課題であるので、より効率的な運用ができるよう町民と力を合わせて取り組みたい。(仙才守)



おいしいおもちにな〜れ!

表紙写真

たき火にあたる子供たち(今山)

火の用心に十分注意しました。